

2021年度 防災教育 交流フォーラム



Disaster Management Education Networking Forum

防災教育と災害教訓の伝承～いかに時空の制約を超えるか

防災教育チャレンジプランは、
2021年度防災交流フォーラムの
一部をぼうさいこくたい2021と
連携して開催します。

ぼうさいこくたいとは？

ご家族連れから専門家まで
幅広い方が防災を学べる
日本最大級の防災イベントです。

2022年度
防災教育チャレンジプラン
募集中
11月19日(金) 締切

日 時: 2021年10月24日(日) 14:00～16:30
2021年11月6日(土) 10:30～12:00
会 場: オンラインにて開催



10月24日(日)は、2021年度防災教育チャレンジプラン実践団体の活動中間発表、11月6日(土)は、
防災教育行政関係者による基調講演と防災教育各分野の代表者による意見交換会を行います。

www.bosai-study.net

主催: 防災教育チャレンジプラン実行委員会、内閣府(防災担当)、国立研究開発法人防災科学技術研究所

共催: 一般社団法人防災教育普及協会

後援: 消防庁、文部科学省、国土交通省、全国知事会、全国市長会、全国町村会、日本赤十字社、全国都道府県教育委員会連合会、日本PTA全国協議会、防災未来賞ぼうさい甲子園事務局



河川
基金

公益財団法人河川財団による
河川基金の助成を受けています。



2021 年度防災教育交流フォーラム

防災教育と災害教訓の伝承～いかに時空の制約を超えるか

日時	プログラム	発表団体(敬称略)
中間報告会 10月24(日) 14:00-16:30 ※防災教育チャレンジプラン 独自開催	実践団体発表・意見交換	【2021年度防災教育チャレンジプラン実践団体】 全12団体 犬山市立楽田小学校 名古屋市立工芸高等学校 都市システム科／工芸防災チーム 糸魚川ジオパーク協議会 長岡技術科学大学 京都府立東稜高等学校キャリアコースライフマネジメントクラス 愛知県刈谷市井ヶ谷町内会体育部 岡山大学教育学部・酒向研究室 減災 Days 千葉県立銚子高等学校 信州大学防災フォトリゲイニング実行委員会 倉敷市教育委員会 京都市立塔南高等学校

日時	プログラム	講演講師・発表者(敬称略)
防災教育交流会 11月6日(土) 10:30-12:00 ※ぼうさいくたい 2021 と連携	<テーマ> 防災教育と災害教訓の伝承～いかに時空の制約を超えるか	
	基調講演	林 春男 国立研究開発法人防災科学技術研究所 理事長
	パネル ディスカッション	コーディネーター: 澤野 次郎 災害救援ボランティア推進委員会 委員長 パネリスト: 北原 系子 立命館大学都市防災研究所 客員研究員 登壇テーマ「災害の歴史をふりかえる意味ー昭和三陸津波の『復興の歌』についてー」 佐藤 翔輔 東北大学災害科学国際研究所 准教授 登壇テーマ「東日本大震災をどのように伝えるか」 諏訪 清二 兵庫県立大学 特任教授 / 防災教育学会 会長 登壇テーマ「阪神淡路大震災の体験者は何を語るのか」 村上 洋子 元釜石市立釜石東中 副校長 登壇テーマ「災害伝承は釜石市でどう活かしたか」

※パネリストの登壇テーマは変更となる場合がございます。

■ 発表・講演等の記録について

- ・ 防災教育交流フォーラムの記録のため、事務局にて音声の録音、ビデオ撮影、写真撮影を行います。また、これら資料はデータベース化し、防災教育チャレンジプラン関連の媒体（ホームページ、パンフレット、報告書等）への掲載、または関係者への提供を行うことがありますので、ご了承ください。



★☆☆☆☆ 中間報告会 ☆☆☆☆☆

防災教育チャレンジプラン独自開催

10月24日(日)

14:00 開会

14:00 開会挨拶

内閣府政策統括官(防災担当)付 参事官(普及啓発・連携担当) 村上 威夫
防災教育チャレンジプラン実行委員長 林 春男

14:10 今年度の趣旨・概要の説明

防災教育チャレンジプラン実行委員 中川 和之

14:25 ブレイクアウトルーム(実践団体発表・意見交換)

ブレイクアウトルーム方式で実施

※下記、防災教育チャレンジプラン実践団体(12 団体)と防災教育チャレンジプラン実行委員、一般参加者が各ルーム内で意見交換を行います

ルーム 1 司会: 佐藤公治委員	ルーム 2 司会: 澤野次郎委員	ルーム 3 司会: 平田直委員	ルーム 4 司会: 舟生岳夫委員
実践団体、実行委員、一般参加者をランダムに 4 ルームに分け、2 回転			

<2021 年度防災教育チャレンジプラン実践団体>

犬山市立楽田小学校
名古屋市立工芸高等学校 都市システム科／工芸防災チーム
糸魚川ジオパーク協議会
長岡技術科学大学
京都府立東稜高等学校キャリアコースライフマネジメントクラス
愛知県刈谷市井ヶ谷町内会体育部
岡山大学教育学部・酒向研究室
減災 Days
千葉県立銚子高等学校
信州大学防災フォトリゲイニング実行委員会
倉敷市教育委員会
京都市立塔南高等学校

15:55 クロージングセッション(議論の共有・まとめ)

防災教育チャレンジプラン実行委員 中川 和之(進行役)
佐藤 公治
澤野 次郎
平田 直
舟生 岳夫

16:20 全体講評

防災教育チャレンジプラン実行委員長 林 春男

16:25 閉会挨拶

内閣府政策統括官(防災担当)付 参事官(普及啓発・連携担当) 村上 威夫

16:30 閉会

実践団体の紹介

犬山市立楽田小学校

プラン名

Let's プロテクト 犬山
＝災害に強い街づくり＝

応募部門

小学校高学年の部

所在地

愛知県犬山市



一目的・特徴等

本校は犬山市が発行するハザードマップで示されている危険地域が校区内にいくつもあるが、災害を身近に意識している児童は少ない。そこで、本実践において防災・減災の意識を子供たちに育てることを目指すこととした。

- ・ 地域教材を活用した教科学習（理科・社会）
 - ・ 地域の施設（演習林・公園）を活用した学習
 - ・ 専門性の高い講師による講演会
- GoogleEarth や YouTube 動画を活用した学習



一団体/プラン紹介

本校は、児童数500人程の中規模校である。犬山市の南東部に位置するが、古墳時代より拓けた場所に位置する。地形的には木曽川の扇状地と東部の山地の縁にあり、それぞれの特徴が校区内に散見できる。東部の山には砂防ダムが各地にある。近くには、砂防ダムが展示されている公園（小野洞川砂防公園）がある。また、明治期から昭和初期にかけてはげ山が多くあって、大雨の度に土石流が流れる地域であった。この山を東京大学が犬山研究林（東大演習林）において再生を果たした。本地区は、このような防災・減災に関わる取組を地道にしている地域と言える。





実践団体の紹介

名古屋市立工芸高等学校 都市システム科／工芸防災チーム

プラン名

防災について考え、行動できる人の輪づくり
～住民の、住民による、住民のための防災訓練～の支援

応募部門

高等学校の部

所在地

愛知県名古屋市



一目的・特徴等

本校は、これまで「防災教育チャレンジプラン」に通算で4年間に亘って取り組んできています。元年度は「ブラックアウト下の避難誘導方法の開発」に、2年度は「浸水害疑似体験装置の開発」に取り組みました。今回は、「誰もが、簡単に始めることのできる防災訓練」をテーマに、これまでに得た知見を動画でまとめ SNS により発信したり、必要な機材や動画をパッケージ化し、多くの団体に貸し出たりするシステムの構築に取り組めます。

一団体/プラン紹介

本校都市システム科は、活力があり、持続可能なまちづくりを考えるための勉強や活動に取り組み、それで得た知識や技能を社会に積極的に発信する土木系学科です。

これまでの様々な活動を通して、「誰もが安全安心に住まうまちづくり」や「地域や住民の方々とともにまちをつくること」の大切さを学びました。ここでの経験を活かし、より安全安心なまちを目指し、まちに住まう人々が災害の危険性や災害に備える必要性を、より身近に感じてもらうことができるための効果的にPR方法について、本プランを通して探求したいと考えています。



実践団体の紹介

糸魚川ジオパーク協議会

プラン名

活火山の新潟焼山を知る！楽しむ！備える！プロジェクト

応募部門

保育園・幼稚園の部
～中学校の部
大学・一般の部

所在地

新潟県糸魚川市



—目的・特徴等

糸魚川市にある新潟焼山は、2016年に小規模な噴火が発生した気象庁の常時観測火山です。学校や地域では、防災教育と避難訓練の一層の必要性が指摘されています。

そこで、本プランでは、ジオパークが得意とするボトムアップ活動として、児童生徒や地域住民が焼山について楽しみながら知る機会を設け、ハザードマップを利用した集落ごとのきめ細かいワークショップを開催し、地域一体となって防災減災に繋がっていきます。

—団体/プラン紹介

新潟県糸魚川市は、フォッサマグナや国石ヒスイなど自然環境に恵まれ、2009年に日本で初めて世界ジオパークの一つに認定されました。当団体は、自然・文化資源を「調べる・守る・伝える」ことを目的としたジオパーク活動に取り組む団体です。出版物や看板の作成、糸魚川市を知って楽しむ講座の実施、海外を含めた他のジオパークとの交流など、地域と一体となったボトムアップの活動に取り組んできました。本プランでは、国内ジオパークの先進地として、ジオパーク活動を核とした地域連携型の防災活動にチャレンジしていきたいと考えています。





実践団体の紹介

長岡技術科学大学

プラン名 地域レジリエンス力獲得のための防災ワクチン TM 教材の開発

応募部門

小学校高学年の部
中学校の部

所在地

新潟県長岡市



ー目的・特徴等

本防災教育では、災害の予防、減災、回復といった総合的な災害対応力の高い地域コミュニティの形成を目指し、“防災ワクチンTM”教材の開発を行います。開発する教材では実際に、避難前に行うと被災後の復興を早める行動（予防防災教育）について実際に考え、体験してもらうことによって、災害復興に関する理解力が深まり、もって地域の災害対応力を高めることに寄与できる。

ー団体/プラン紹介

長岡技術科学大学は、「UNESCO Chair on Engineering Education for Sustainable Development」として日本の工学系大学初のユネスコチェアプログラムに認定を受けるとともに国連からアカデミック・インパクトSDGsゴール9（産業と技術革新の基盤を作ろう）の世界ハブ大学に任命されている。2020年度から東京電力ホールディング株式会社と防災・減災に関する共同研究プロジェクトの設立に向けた包括連携協定を行い、新たな防災教育コンテンツの開発に取り組んでいる。



実践団体の紹介

京都府立東稜高等学校キャリアコースライフマネジメントクラス

プラン名 実践マネジメント第2章(京都東稜のぼうさい普及活動)

応募部門 高等学校の部

所在地 京都府京都市



一目的・特徴等

昨年度、チャレンジプランをとおして学校、地域社会に向けてぼうさい普及活動に努めた。今年度は、さらなる普及活動に加え、避難所である本校で、生徒が運営に関わること、また京都を活かした歴史防災教育の発展型学習「歴史防災教訓学」を導入し、過去の京都の災害を探究的に学び、地域の歴史と災害を結びつけた活動を行う。



一団体/プラン紹介

本校は、世界文化遺産の醍醐寺、小野小町ゆかりの随心院、そして四季折々の景観や緑豊かな醍醐山・高塚山など、文化、自然豊かな環境に位置する学校です。災害発生時の避難所に指定されている本校で、京都初の環境・公共・防災学習について学習するキャリアコースライフマネジメントクラスが2018年度にスタートしました。現在、地域の小・中学校や自主防災会などと連携した授業を行い、発表の機会をいただいております。今年度はハイブリッド型のアウトプット活動を推進するために、さらなる地域連携を進めていきます。



実践団体の紹介

愛知県刈谷市井ヶ谷町内会体育部

プラン名

教員養成大学の学生を育てる防災教育年間プログラムの開発
一町内防災運動会をととした「地域発」の学び—

応募部門

大学・一般の部

所在地

愛知県刈谷市



—目的・特徴等

プランの目的は、地域の指定避難所である教員養成大学の学生が、町内防災運動会への参加をとおして、防災教育の担い手としての知識・技能を身につけ、地域住民との交流体験を深める支援を行うことです。従前の防災運動会の競技を見直し、新設の競技を学生と協働で開発・実践し、活動を防災教育の年間プログラムとして展開することで、地域住民・学生双方の防災意識の向上を目指します。実践2年目の今年は、オンラインを活用した運動会の活性化と、地域企業との連携にも取り組みます。

—団体/プラン紹介

井ヶ谷町内会は刈谷市内でも特に地域活動が盛んな自治会で、体育部は町内会の有志によって組織された約25名の団体です。町内の行事の中で体育部が中心となって運営する最も大きな行事が防災運動会で、1979年を第1回とする40年以上の歴史があります。町内の大学の学生とは今でこそ日常的な交流が少ないものの、以前は学生向けの下宿も多く、「学生を町内で見守る」という意識が地域で醸成されてきた経緯があります。町内に潜在的にある「教育の力」を活かし、学生生活の場であり防災を学ぶ場としての地域住民が、防災運動会の運営・実施をとおして、学生を「育てる」ことにチャレンジします。



実践団体の紹介

岡山大学教育学部・酒向研究室

プラン名

ダンスを用いた防災教育
「ぼうさい PiPit!ダンス」

応募部門

大学・一般の部

所在地

岡山県岡山市



一目的・特徴等

本研究室では、楽しく身体を動かしながら、命を守る動作を身につける防災教育教材「ぼうさいPiPit!」ダンスの開発と実践をこれまで行ってきました。

防災教育チャレンジプランでは①学校現場や地域への多様な実施形態による防災教育の実践、②防災教育コンテンツの映像教材制作、③学術論文の執筆と投稿、④指導マニュアルの制作に取り組み、地域における「共助」の土台強化・積極的に防災活動に取り組む人材の育成を目指しています。

一団体/プラン紹介

ダンスなどの身体表現教育を専門とする本研究室では、OKAYAMA! 市民体操（岡山市からの委託）や白桃ダンス（岡山大学発ダンス教育支援教材）の開発・普及啓発にもこれまで取り組んできました。

本プランは、それらの実践知を生かして、産学官地域連携により新たに防災ダンスの開発と普及啓発を着想したことが始動の背景にあります。

所属する学生のほとんどは、将来学校教員になることを志しており、こうしたダンスを用いたプロジェクトを通して教壇に立つ際に必要となる力を身につけています。

パワフルな大学生の力で、明るく前向きに頑張ります！





実践団体の紹介

減災 Days

プラン名

幼児からスタートする切れ目ない防災教育 ～日常コミュニティがいのちを守る～

応募部門

保育園・幼稚園の部
～小学校の部

所在地

山形県山形市



ー目的・特徴等

フィールドである山形県中山町は町内の殆どがハザードマップに色がつく地域です。従来から、中学生の避難所運営訓練を通じた防災教育が取り組まれています。今回のプランでは幼小において発達の段階に合わせた「切れ目ない防災教育」の連携を作り出すこと、また、将来、自分自身が社会の一員であるという視点を持ち合わせ、主体的に防災に取り組むキーパーソンになれる様、防災の知識活かし、行動を導く為の「こころ」を育みます。

ー団体/プラン紹介

防災・減災活動は未来の笑顔の為にあるということを信念に、防災・減災を手段に人づくり・まちづくりに関わる活動を行っています。防災に関する講座やワークショップ、体験イベントの他、山形県自主防災アドバイザーとして、自主防災会や行政などと連携し、研修および講座、ワークショップを行っています。また、防災・減災を視点としたSDGsの活動にも取り組んでいます。人とまちをつくる為に必要な防災・減災の視点・手段を基に、より良い未来の為にコミュニティを創造して参ります。



実践団体の紹介

千葉県立銚子高等学校

プラン名 県銚ぼうさい探究！

応募部門 高等学校の部

所在地 千葉県銚子市



一目的・特徴等

学校設定教科「防災の学び」を柱に、防災教育の内容を教科等横断的な視点で組み立て、地域に根ざした探究活動を実践し、自助・共助の防災意識を高める。

銚子ジオパーク推進協議会と連携し、作成した積層図の範囲を歩き、どのような場所が危険か考えるジオツアーや災害履歴・偉人、津波の行動科学、災害医療、地層・化石、産業・醬等についての専門家による特別授業や探求活動の成果を発表する県銚アカデミア等が特徴である。



一団体/プラン紹介

本校は、千葉県の最東端に位置する銚子市の利根川河口の南岸にあり、黒潮の影響で温暖な気候のもと、生徒は学習に励んでいる。近くには醸造関連会社や水産加工会社等があり、銚子ジオパークや海岸部は水郷筑波国定公園に指定されている。

学校設定教科「防災の学び」を柱に、学校と地域が目標を共有したうえで協働し、安全教育及び安全管理に取り組み、令和2年度 学校保健及び学校安全表彰～文部科学大臣表彰～（学校安全関係において学校が受彰）を受彰した。



実践団体の紹介

信州大学防災フォトロゲイニング実行委員会

プラン名 地域でつくる防災フォトロゲイニング

応募部門 高等学校の部
大学・一般の部

所在地 長野県長野市



一目的・特徴等

防災の重要性は総じて社会全体に浸透しているが、「我がこと」として具体的・実行的な取り組みは少なく、報道等で被災地の状況を知り意識する程度が実態です。このような意識を変容させるには、楽しみながら防災意識を醸成し、防災を日常生活に取り入れることが大切です。

本プランでは、地域住民と高校生が協働で作成した防災マップをもとに、防災フォトロゲイニング大会の企画・運営を行い、参加者の防災意識向上、新たな地域防災活動の取り組みの端緒の獲得を目指します。



一団体/プラン紹介

地域防災の普及を目指し、信州大学、伊那市役所、伊那市有線放送農業協同組合、上伊那広域消防本部の有志で立ち上げた団体です。設立前から地域防災に関わる活動に積極的に関わってきたメンバーが、2020年に長野県伊那弥生ヶ丘高等学校の総合学習に関わることになり、新たな地域防災の仕組みづくりのため活動を開始しました。

今後は様々な方の協力を得ながら目的の実現を目指していきます。また、本プランを通じて得た知見を地域の方にいかにわかりやすく伝えるか等課題もありますが、メンバー一同全力で取り組んでいきます。

実践団体の紹介

倉敷市教育委員会

プラン名

「わがこと意識」をもつための倉敷型防災教育
～中学生が家庭や地域の力となることを目指して～

応募部門

中学校の部

所在地

岡山県倉敷市



一目的・特徴等

【目的】

- 1 災害発生時に自分の命を自分で守ることができる実践的な防災教育の推進と「共助」の視点の育成。
- 2 これまで学んだ知識の活用，家庭・地域への発信及び生徒の「わがこと意識」の継続と向上。
- 3 中学生が家庭・地域と協力することによる保護者や地域住民の防災力と「わがこと意識」の向上。

【特徴】

小学校からの系統性と発達段階を踏まえた生徒の自主的・主体的な活動や，家庭・地域への発信や連携を意識した学習。

一団体/プラン紹介

倉敷市教育委員会は，岡山県南部に位置し，白壁の町並みが残る美観地区，本州と四国を結ぶ瀬戸大橋を有する人口約48万人の中核市にあります。

市内には幼稚園43園，小学校63校，中学校26校，高等学校5校，特別支援学校1校があり，園児児童生徒数は約43,000人です。



本市では平成30年7月の豪雨災害によって被災した経験を踏まえ，子どもたちが災害に対して「わがこと意識」をもち，防災への実践力を身に付けるため，防災教育のカリキュラムを作成し，令和2年度から市立小学校3・5年生で総合的な学習の時間における授業としての防災教育を始めています。



実践団体の紹介

京都市立塔南高等学校

プラン名

地域と連携して活動する
防災ボランティアリーダーの育成

応募部門

高等学校の部

所在地

京都府京都市



一目的・特徴等

本校周辺の地域力や京都全体をフィールドとした市民力を活かし、地域や行政機関、学術機関との連携・協働活動を通して、「防災ボランティアリーダー」の育成を目指し、下記の 4 つの事業に取り組んでいきます。

- 防災教育を通した生徒の主体性の育成
- 災害時における地域の現状を把握と協働活動を通した地域防災への提案
- 地域との連携を通した地域住民への防災・減災意識の向上を図る取組
- 防災ボランティアリーダーの視点による防災・減災意識の向上

団体/プラン紹介

本校は、京都市南区にある全校生徒 700 名規模の高校で、豊かな人間性と高い専門性を備えた優秀な教師育成を目指す教育みらい科と、生徒が将来の自分のなりたい姿を見据えながら、特色ある教育活動を展開している普通科を設置しています。生徒たちは、素直で明るく毎日ひたむきに自らの目標に向かって努力をしています。

また、令和 5 年度に開校予定の「新普通科系高校」に向けて、京都府内の高等学校で初のコミュニティ・スクールとして、地域や企業、大学、行政機関を代表する方々と共に、地域社会と一体となった学校づくりを推進しています。





防災教育交流会



防災教育と災害教訓の伝承～いかに時空の制約を超えるか

ぼうさいこくたい 2021

11月6日(土)

10:30	開会	
10:30	開会挨拶	
	内閣府政策統括官(防災担当)付 参事官(普及啓発・連携担当)	村上 威夫
10:32	趣旨説明	
	災害救援ボランティア推進委員会 委員長	澤野 次郎
10:35	基調講演	
	国立研究開発法人防災科学技術研究所 理事長	林 春男
10:55	パネルディスカッション	
コーディネーター	： 澤野 次郎	災害救援ボランティア推進委員会 委員長
パネリスト	： 北原 糸子	立命館大学都市防災研究所 客員研究員 「災害の歴史をふりかえる意味－昭和三陸津波の『復興の歌』について－」
	佐藤 翔輔	東北大学災害科学国際研究所 准教授 「東日本大震災をどのように伝えるか」
	諏訪 清二	兵庫県立大学 特任教授／防災教育学会 会長 「阪神淡路大震災の体験者は何を語るのか」
	村上 洋子	元釜石市立釜石東中 副校長 「災害伝承は釜石市でどう活かしたか」
11:55	全体講評	
	災害救援ボランティア推進委員会 委員長	澤野 次郎
12:00	閉会	



基調講演講師の紹介



林 春男 (はやし はるお)

国立研究開発法人防災科学技術研究所
理事長

一 略歴

1951年東京都生まれ。専門は社会心理学、危機管理。早稲田大学大学院修士課程修了後、1983年カリフォルニア大学ロサンゼルス校より博士号(Ph.D.)取得。京都大学防災研究所教授を経て、2015年10月1日より現職。

一 主な受賞

2013年9月防災功労者内閣総理大臣表彰受賞。

一 主な著書

『いのちを守る地震防災学』(岩波書店)2003、『しなやかな社会の挑戦』(日経BPコンサルティング)2016 など著書多数。

一 主な社会活動

文部科学省科学技術・学術審議会 専門委員、日本学術会議連携会員、内閣府・防災教育チャレンジプラン実行委員長等。市町村議会議員特別セミナー、震災対策技術展、防災産業展等での講演実績。

コーディネーターの紹介



澤野 次郎 (さわの じろう)

災害救援ボランティア推進委員会
委員長

一 略歴

阪神・淡路大震災より防災とボランティア活動に参加。1995年7月災害救援ボランティア推進委員会設立、2009年7月より委員長。2004年防災教育チャレンジ実行委員会設立で委員、2014年3月防災教育普及協会設立で常務理事、他に跡見学園女子大学、十文字学園女子大学で講師。

パネリストの紹介



北原 糸子 (きたはら いとこ)

立命館大学都市防災研究所
客員研究員

一略歴

1939年、山梨県生まれ、津田塾大学学芸学部英文科卒、東京教育大学文学研究科修士課程修了、神奈川大学歴史民俗研究科特任教授、国立歴史民俗研究博物館客員教授などを経て、現在に至る。『地震の社会史』、『関東大震災の社会史』、『日本震災史』、『津波災害と近代日本』など、災害史関係の著作あり。



佐藤 翔輔 (さとう しょうすけ)

東北大学災害科学国際研究所
准教授

一略歴

2011年京都大学大学院情報学研究科博士後期課程修了。博士（情報学）。専門は災害伝承・災害情報。東北大学助教を経て、2017年11月より現職。令和3年度 科学技術分野の文部科学大臣表彰 若手科学者賞等（実証研究と技術支援に基づく効果的な震災伝承に関する研究）



パネリストの紹介



諏訪 清二 (すわ せいじ)

兵庫県立大学 特任教授
防災教育学会 会長

一略歴

2002年、兵庫県立舞子高校環境防災科で防災教育に関わり始めた。現在はフリーで国内外の学校での防災教育、教職員対象の研修などを行っている。防災教育、災害ボランティア、災害体験の語り継ぎなどを研究・活動対象としている。若者が防災活動をできる場のプロデュースにも力を入れている。



村上 洋子 (むらかみ ようこ)

元釜石市立釜石東中学校
副校長

一略歴

平成20年釜石東中学校に赴任。生徒とともに防災教育に取り組んでいた。平成23年3月11日東日本大震災に遭い、校舎は全壊。隣の鵜住居小学校の児童の手を引いて避難したり避難場所を3回変更したり、登校していた生徒・職員が全員無事。多くの悲しみとともに、今も「釜石のものがたり」として語り継がれている。

防災教育チャレンジプランとは？

■ 防災教育チャレンジプランの目的

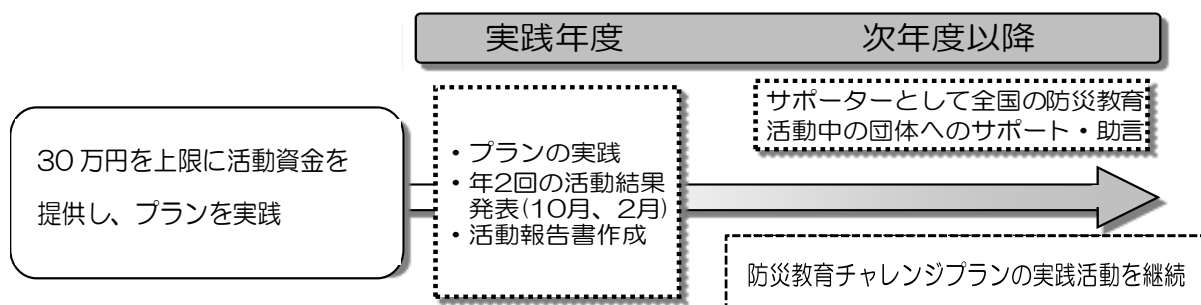
国内外で大規模な災害が起きている昨今、またいつ災害がやってくるかわかりません。防災教育チャレンジプランは、このような災害に備え大切な命を守り、できるだけ被害を減らし、万が一被害があった時すぐに立ち直る力を一人一人が身につけるため、全国の地域や学校で防災教育を推進するためのプランです。

全国各地の防災教育への意欲をもつ団体・学校・個人等に対し、より充実した防災教育のプランを募集し、「防災教育チャレンジプラン」として選出した上で、その実践への支援を行います。

1年間の実践の後、その実践例や支援した取り組みの内容を活動報告会を通じて広く公開・共有するとともに優れた実践の表彰を行うことで、全国の防災教育に取り組む団体・学校・個人やそのプランに光をあて、各地域で自律的に防災教育に取り組むことのできる環境づくりを目指します。



■ 防災教育チャレンジプラン実践団体の構成と実践スケジュール





実行委員の紹介

(委員長)

林 春男	国立研究開発法人防災科学技術研究所 理事長
池田 真幸	国立研究開発法人防災科学技術研究所 災害過程研究部門 特別技術員
市川 啓一	株式会社レスキューナウ危機管理研究所 代表取締役
井上 浩一	防災ネットワークプラン 代表
鍵屋 一	跡見学園女子大学観光コミュニティ学部コミュニティデザイン学科 教授
金田 義行	香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構 副機構長・地域強化研究センター長・学長特別補佐・特任教授
甲 健太	特定非営利活動法人日本ジオパークネットワーク 事務局
木村 玲欧	兵庫県立大学環境人間学部・大学院環境人間学研究科 教授
国崎 信江	株式会社危機管理教育研究所 危機管理アドバイザー
栗田 暢之	認定特定非営利活動法人レスキューストックヤード 代表理事
酒井 慎一	東京大学大学院 情報学環・学際情報学府 教授
佐藤 公治	南三陸町立歌津中学校 主幹教諭
佐藤 健	東北大学 災害科学国際研究所 防災実践推進部門防災教育実践学分野 教授
澤野 次郎	災害救援ボランティア推進委員会 委員長
諏訪 清二	防災学習アドバイザー・コラボレーター
中川 和之	株式会社時事通信社 解説委員
中村 一樹	国立研究開発法人 防災科学技術研究所 イノベーション共創本部共創推進室 室長
平田 直	国立研究開発法人 防災科学技術研究所 首都圏レジリエンス研究推進センター センター長 兼 東京大学地震研究所特任研究員
福和 伸夫	名古屋大学減災連携研究センター センター教授
船木 伸江	神戸学院大学現代社会学部社会防災学科 教授
舟生 岳夫	セコム株式会社 I S 研究所リスクマネジメントG 主務研究員
松尾 知純	防災ゲート・パートナーズ 代表
南島 正重	東京都立両国高等学校附属中学校 主幹教諭
村山 猛	千葉県教育庁企画管理部教育総務課障害者雇用推進班 主幹
五島 政一	国立教育政策研究所 教育課程研究センター基礎研究部 総括研究官
小長井 彰祐	国土交通省水管理・国土保全局防災課 防災企画官
田村 一郎	消防庁国民保護・防災部防災課 地域防災室長
福田 和樹	文部科学省研究開発局地震・防災研究課 防災科学技術推進室長
村上 威夫	内閣府政策統括官（防災担当）付 参事官（普及啓発・連携担当）
森本 晋也	文部科学省総合教育政策局男女共同参画共生社会学習・安全課 安全教育推進室 安全教育調査官

(2021年9月1日現在、所属役職別 50 音順、敬称略)

防災教育チャレンジプラン募集の御案内

1. 募集の概要

防災教育チャレンジプランでは、全国で取り組まれつつある防災教育の場の拡大や質の向上に役立つ共通の資産をつくることを目的に、新しいチャレンジをサポートいたします。

そのプランの準備・実践に当たって発生する経費を支援し、実現に向けた防災教育チャレンジプランアドバイザーによる対面またはオンラインでのアドバイスや相談などの支援を行います。

応募の中から選ばれたプランは、活動計画について前年度の活動報告会で発表、さらに実践した内容について、交流フォーラム（中間報告会）と活動報告会で発表していただきます。

活動報告会においては、優秀な実践活動に対して防災教育大賞・防災教育優秀賞・防災教育特別賞を授与いたします。

これからの時代の防災教育として、オンラインやオンデマンドを活用した活動など、様々なチャレンジをサポートし、その成果はホームページなどで幅広く公開します。

2022年度の防災教育チャレンジプランでは、新型コロナ禍を新たな「まなびのきっかけ」とするチャレンジを積極的に募集します。内容としての新型コロナ禍を選ぶだけでなく、新型コロナ禍がきっかけとして生まれた「まなびのスタイル」を活用したオンライン型やオンデマンド型のチャレンジも歓迎です。

みなさんのチャレンジをお待ちしています。

サポート内容	■プランの実践にかかる経費の提供／上限 30 万円（査定による） ※活動・予算計画書の提出及び団体名義の口座が必要となります。 ■交流フォーラム（中間報告会）・活動報告会発表者への交通・宿泊費の支給。（1名分×3回分） ※社会情勢等によりオンライン開催となった場合はタブレット、wifi ルーター等の機材を貸与します。 ■プランの実現に向けて、下記サポート主体が対面・オンライン問わず 助言や現地指導等の支援を行います。 ■防災活動の手法・事例の収集と活動情報の発信ができる各種 web ツールを提供します。
サポート主体	■防災教育チャレンジプランアドバイザー ・防災教育チャレンジプラン実行委員 ・防災科学技術研究所研究員 ・サポーター（過去の実践団体） ・その他防災教育専門家等 ■防災教育チャレンジプラン実行委員会事務局
表彰	■活動プロセス及び成果に対して審査を行い、優秀な実践活動に対して、防災教育大賞・防災教育優秀賞・防災教育特別賞を決定し、表彰状と盾を授与いたします。 ■防災教育チャレンジプラン「サポーター」として認定いたします。

2. 応募資格

- 防災教育を一層充実させたいと考えている教育・社会福祉施設（保育施設・幼稚園・学校等）、教育委員会、NPO、民間企業、個人、地域団体（民間事業所、各種団体、行政機関）
- 採用された場合は、開催予定の実践団体決定会、中間報告会、活動報告会の計3回の会合に出席できること。

3. 応募部門（プランの対象別）

- | | | |
|---------------|-------------|-------------|
| A. 保育園・幼稚園等の部 | B. 小学校低学年の部 | C. 小学校高学年の部 |
| D. 中学校の部 | E. 高等学校の部 | F. 大学・一般の部 |

4. 応募締切

2021年11月19日（金）15:00までに応募企画書をホームページにアップロード

5. 応募方法

応募を希望される方は、ホームページ（<http://www.bosai-study.net>）より事前登録をお願いします。事前登録後に、事務局より応募用紙の電子ファイル及び提出先を案内いたします

[illegible]



防災教育 チャレンジプラン

- 防災教育チャレンジプラン実行委員会事務局
E-mail : cpinfo2865@bosai-study.net

- 防災教育チャレンジプランホームページ
<http://www.bosai-study.net/>

※E-mail アドレスは、予告なく変更することがあります。
最新情報は、ホームページでご確認ください。